

編集と 鹿児島県 肝属郡 大根占町役場  
発行 総務課 文書広報係  
(電話 大根占局 1・69・254)  
印刷 大根占印刷所 (電話 70)

町の (41年2月1日現在推計人口)  
人口 男6,083人 女6,834人 計 12,917  
前の月より 40人減

# 大根占おおおじね

固定資産課税台帳を  
お見せします

期間は二十日まで(毎日執務  
時間中)評価に異議があれば  
審査の請求ができますぜひ見  
ておきましょう



(完成した屋内運動場)

## 大根占小学校 改築工事完了

中の大根占小学校の屋内運動場がこの程完成、去る二月十九日、その落成式が、校舎の落成祝と併せて、盛大に行なわれました。

大根占小学校舎は、昭和三十四年度から、危険校舎改築事業として実施され、鉄筋コンクリート造二階建てで、昭和三十七年まで四ヶ年にかけて工事が実施されました。

昭和四十年完成の屋内運動場及び宿直室と合せて、総建物面積、三千五百六八二、六平方メートル(約一千〇七九坪)でこれに要した総工事費は、六千三百五十八千円となっており、その全工事を鹿児島市の田中組が施行したものです。

これで大根占小学校の校舎建築は完了したことになり、内容、外観共に教育の殿堂として恥ぢない立派なものになりました。

二月二十一日午前九時頃鳥浜部落で、道路を右に横断しようとした自転車から来た自動二輪に追突されて、二人とも大けがをする事故が起りました。

この事故の原因を検討してみますと、自転車に乗った人が、仕事の忙がしさに取りまがれて、手による合図をしなかったうえに、後方の確認を怠ったことと、自動二輪の運転手もよく前の自転車の行動に注意して安全な運転を怠ったことが主な原因となつています。

道路交通法の中に自転車の交通のルールは、決めてあります。

こののは非常にきつんですから今後は必ず合図をしてください。横並びや二人乗りなども、きけんなだけでなく、ほかの人の交通のじゃまになります。

おかあさんが自転車の後にこどもを乗せて国道を通っておられるのをしばしば見受けますが、あぶなく冷汗が出る思いがします。

いよいよ三月となり学校の春休みも近く、行楽シーズンとなりました。佐多岬への観光客の車もふえてきます。ほんのちよつとした不注意で、あたら尊い命を失つたりまた大けがをして一生取り返しのつかない体になつてしまひます。自転車の交通のきまりも非常に大切であることを自覚し、そして、守りましょう。

最後に国道沿いにお住いのおかあさん方をお願いいたします。よちよち歩きの幼いこどもが国道で、おもちゃの自転車で乗ったり、ひとり歩きをして、車のすぐ前や後を横ぎることがしばしばあります。けがをしてから泣き悲しんでも役に立ちません。こどもを事故から守ってください。

「注意一秒//けが一生」

こんどの事故も自転車に乗った人が右折の合図をしておれば、こんな悲惨な事故は起らなかったと思ひます。明るい住みよい郷土づくりのために皆様のご協力をおねがひいたします。

大根占警察署

## 自転車も合図の励行を

後方の確認も大事

交通事故のはなし

ます。その中でおもなものをあげると、

- 一、右折、左折のときは、三十メートル前から合図をする
- 二、道路の左端に寄つて通行する
- 三、横並びをしない
- 四、交通のひんばんな道路では二人乗りをしない
- 五、夜間は、必ず灯火をつける

ることがなつております。

ところがこの簡単なきまりがほとんど守られておりません。まず手による合図のことです。が、みんな合図をしななければならぬことは知つておりますが、行なわれておらず急に道路を横ぎるために、後から来る車の運転者は、応急処置をすることができず事故が起るのです。漫然と道路を



(あいさつする寺園知事)

## 寺園知事を囲んで

### 県政「現地の声を聞く会」 新生活運動

二月十五日県主催の「現地の声を聞く会」が、本町で開かれました。

「新生活運動のすすめ方」をテーマに、寺園県知事をはじめ、民生労働部長、婦人児童課長、広報課長等が出席、本町で実施されている、新生活運動の実態についていろいろな実例、意見等が出されました。

この会は、知事が、県政をすすめてゆくうえに、県民の行っているいろいろなことを直接住民から聞き、それがいいことであれば県下全体に広めてゆこうとするもので、県下各所で開かれています。

今回は、前述のとおり、「新生活運動のすすめ方」についてと題して、町内の婦人会をはじめ、青年団、部落長、各種団体等多数の関係者が出席、会場の学校講堂は、満員の盛況でした。

先づ、あいさつにたった寺園知事は、産業関係、経済関

係の発展は、世界のどの国にも負けないほど発達し、進んでいるが、国民生活の在り方は決してこれに伴っているとは言えない気がする。これは、今後あらためて立派なものにしてゆかなければならない、今の中学生が、今日集っておられる人達位の年齢になったら、経済の状態も社会の状態も大きく変わって来ると思はれるが、その時代になって、国民生活、人間生活の在り方が現在のままで進んだのでは、世の中の発展と、生活態度とが、ちがはぐになるような気がする。その頃になると戦争のない平和な日本が出来るであらうけれども、どこに行っても、一人一人の生活のあり方、各種団体の動き方をみても、平和国家、文化国家だといふような国民生活に持つてゆくことが必要である、そう

するには、やはり、子供達が自然にそうなるように、我々大人が、その下地を作ってやる必要がある。そうすることが、青少年の不良化防止にも役立つと思う。

そういう意味で、大根占町の皆さんの、実施しておられる新生活運動のすべてについて、意見を聞かしていただきたい、県政を推進してゆくうえにとり入れてゆきたい、とのべ、ついで、町内関係者から、1、年末年始の新生活運動について、特に寄合正月の実施2、七草粥を、婦人会が中心となつて、部落公民館で実施している実例

3、成人式の実施時期の問題4、子供の修学旅行や、家の新築時の派手な贈答を政めた事例

5、因習や、迷信を打破って新しいしきたりを作ってゆく

6、旧来の古いしきたりを改めてゆくためには、根気強くあきらめなく繰返して話合つてゆくことが必要であること、

7、正しい「家庭の日」の在り方

8、親子会の末端補導員の研修を行つて欲しい

9、三不運動の強力な推進10、「家庭の日」について、農家と、俸給生活者の実施上の問題をどうするか、

11、婦人会長、青年団長、PTA会長等、無報酬の役員の後継者育成の問題

主として以上のような意見、事例等がのべられ、県関係部、課長から、特に、「家庭の日」の正しい理解と、協力方の要望があり、午後四時を終りました。

## 山ノ口グループなど表彰

### ことしの農業振興大会

恒例の農業振興大会が二月二日、南大隅高校講堂で開催されました。

これは、今日の農業には、労働力の県外流出、農業後継者の問題、農産物価格の不安定等あまりにも問題が多すぎます。このような事態の中で農業をみながら考え、また、励まし合い明日の農業に役立てようということから開催されるものです。

山ノ口県農政課長の「最近の農村問題」と題する有意義な講演があり、次いで昭和四十年の種農作物品評会、競

- 作会賞状授与、三作運動機能集団表彰式等が行なわれ最後にはけしき合ひのことが採択されました。
- 主な受賞者は次のとおり
- 〇水稲早期栽培苗代成績 一等 寺田藤彦
  - 二等 赤石光次 押領司光夫 牛飼一夫
  - 〇水稲早期作競作会成績 一等 西園チヅ子
  - 二等 馬込照美 寺崎卓人 横峯友三郎
  - 〇水稲一、二回作競作会成績 一等 東岩男
  - 二等 横峯友三郎 今隈義則

- 〇きぬさやえんどう多量出荷成績
- 一等 吉山藤巳 久保武彦
  - 二等 前田正人 東岩夫 加塩吉二 今隈義則 永田清彦 皆倉松二 坂下盛雄 坂下正夫 今熊平利
  - 〇てんさい出荷量の部
  - 一等 寺崎重志
  - 二等 福永末吉 加塩可也 永野弘 宮園誠任 黒瀬道夫 新原鶴吉
  - 〇てんさい用堆肥増産成績
  - 一等 安水重徳
  - 二等 下玉利辰志 安水清徳 田中アイ 中馬辰矢 中野三郎
  - 〇みかん幼木園成績
  - 一等 福永喜利
  - 二等 前田正人 新原兵介 二 誠任 前田正久 石峯

## お知らせ板



付検査が、三月十四日から二十五日頃まで行なわれます。

一団地に五アール(五畝歩)以上新植された方は、補助金の対象となりますから、補助金に該当する方は、検査を受けてください。各回の検査日程は決まり次第小組長を通じてお知らせします。

◎「家庭の日」の歌募集形式、ホームソング、一節は五行以内三節まで、題名自由募集期限、四月十五日まで送り先鹿兒島県婦人児童課内「家庭の日」の歌係

◎早期陸稲種子(オオスミ)を農協であつせんしています量が少いですから希望者は農協本所に申し出ください価格は、キロ当り百三十五円

◎昭和三十九年春植造林の値

◎森林組合に電話が新設されました。番号は六根占局四番22日

◎所得税、贈与税：3月15日 個人事業税、住民税：3月22日

◎税金出納量の部

- 一等 今村大吉
- 二等 鳥越光弘 鳥越利行 松元清二
- 〇たばこ総収納代金成績
- 一等 安水ミツ
- 二等 白井太郎 安水茂助 押領司才藏
- 〇たばこ一〇アール当収納代金成績

- 求 皆倉俊夫
- 〇紅茶出荷量の部
- 一等 今村大吉
  - 二等 鳥越光弘 鳥越利行 松元清二
  - 〇たばこ総収納代金成績
  - 一等 安水ミツ
  - 二等 白井太郎 安水茂助 押領司才藏
  - 〇たばこ一〇アール当収納代金成績
- 〇産米改善
- 小吉虎吉 寺田実 脇田達哉
  - 〇優良機能集団表彰
  - てんさい部門 落河てんさい栽培グループ
  - たばこ部門 安水総代区畜産部門 山ノ口和牛グループ



旅行するときもたばこは町内の店で買いましょう一本につき四二銭が町の収入になります

# 農道の整備など

## 農業問題に多くの意見

二月十一、十二日にかけて宿利原校区の協和、牧原才原の各部落で、町政座談会が開かれました。

これは「町民の声を、町政のうえに反映させてゆこう」という町長が、年に一回以上の計画で開催しているものです。

## 宿利原で町政座談会

最も話の出たことは、最近の経済界の不況反映して、苦しい農家の実情を訴え、これからの農業経営をどのようにして行ったらよいか特に現金収入の問題、労力不足に関連する農道整備の問

題牧原、大尾間の町道バス路線の砂利散布の要望等でした

役場からは、町長以下各課長が出席し、

1、農道整備に対する補助の問題については、作業の困難な場所（岩の切取等）については、町でも或る程度考慮することになっているが、今後はできるだけ効率的な農道整備を図るため、県単の農道に入

れてもらうよう、役場技術員に現地を調査して、関係機関に接衝してゆきたい。

2、牧原、大尾間の町道バス路線の補修については、早速役場のトラックを使って、砂利散布を実施する。

3、町有牛の貸付については、主産地形成という立前から、従来の町有牛の貸付では意味

がない。従って、県で実施している種牝牛の貸付制度を利用したいから、地元でも話し合って（県有貸付牛は集団的に百頭を単位として貸付けされる）そういう態勢を作ってもらいたい。

4、農道に対する砂利散布の実施方については、現在、町道の全線にわたって実施されていない実情なので、現在のところでは、農道まで実施することは困難であるから、砂利を町で提供して、撒布は部落で実施してもらいたい。

5、農業問題については、少しでも農家の所得をあげる意味で現金収入の道を町でも講じてゆきたいが、農家個々でも種々工夫研究して努力していただきたい。

（手近な例として、落花生の新品種（故良和田岡）の栽培や、牧原部落では、養蚕等もやってみたい旨の意見も出ました。町では、これらの種子

## 県が本町を指定

### 母子体力づくり運動

すでに町民の方には、部落長さんを通じてお知らせしましたが、県民体位の向上をはかるため、県において、「体力づくり鹿兒島県会議」が発足し、県下に五市町（大根占指宿、川内、大口、伊集院の各市町）を指定し、特に、妊産婦及び乳幼児を対象として体力づくりのりだすことになりました。

この運動は、県民の体力が他県のそれに比べ劣っていることや、健康増進で明るい町

妊婦体操、産婦体操の実技指導や、健康相談、栄養相談の話等熱心に受講しました。県、及び町では、今後も、度々この種の講習、実演会を

開いて、乳幼児、妊産婦の健康増進と、体力づくりにのりだすことにしています。皆さんの御協力をお願いします。

のあつせんや、養蚕の現状、実施してゆくうえの問題点等調査することになっています。など熱心な意見の交換がなされました。

町では、今後も機会をみてこの種座談会を開催することにしていきます。熱心に意見の交換がなされた町政座談会の会場風景



## 善意の話題

### 香奠返しを寄附

神ノ浜一区の池吉俊幸さんは、母イサさんの忌明けに当り山ノ口部落の岩元親さんは母サワさんの忌明けに当り、瀬戸山部落の、菊谷辰志さんは、母ハルさんの忌明けに当り香奠返しとして、町社協に多額の御寄附をいただきました。

社協では、御厚志をありがたうとお受けし、社会福祉に役立てる所存です。厚くお礼申し上げますと共に、御他界された方々の御冥福をお祈りします。

### 町立錦江園に慰問品

役場女子職員の皆さんからみかん一箱を、大根占町商工会から、入園者を二月二十八日開催の、三田明ショーに招待していただきました。町内、栄町の上ノ園酒造から、たぐさんの焼酎を

鹿屋老人クラブから、たぐさんのパンを贈っていただきました。入園中のお年寄りにかわって、厚くお礼申し上げます。



就学援助について  
経済的な理由で、就学困難な児童や生徒に、毎年教科書代、学用品代、修学旅行の費用、給食費、医療費等が支給されます。

これらの支給の対象となる児童、生徒の決め方は、教育委員会が各小学校長の意見を聞き、更に民生委員の協力を求めて審議決定しています。

## 就学費の補助

いろいろな資料を参考にして決めますので、個人的な申出や、意見によって左右されることのないよう処理して参ります。

◎昭和四十一年度の教科書につきましては、小学校は、一年生から六年生まで、全部無償で支給されます。中学校は、昭和四十二年度から、一年生に無償で支給される予定です。（教育委員会）

戸籍に関する情報は  
ホームページ上では  
掲載していません

# 今月の農作業

## ※水稲早期栽培

◎苗代までの仕事が、気温に左右されやすくそれだけ失敗もあります。栽培基準を守りましょう。

◎病害虫の防除、水利の関係など話し合って集団化するようによしてください。

◎肥料は、だいたい普通栽培の基準でよい。はじめのうち気温が低いから元肥重点でやる。砂質土で肥料ぎれしやすいところは、窒素の一部を追肥とする。

## ※直まき栽培

種まきの時期は、水温15度C以上、4月上旬～中旬となる水をためてやる方法と、乾田

から水をかける方法とある。たねまき機は役場にあり、実施されるときは、技術員にぜひ御相談ください。

◎種子量 発芽率80%以上の場合

10アール当り5キログラム

◎肥料田植えをする場合より主として窒素を20～30%よけいにやります。窒素肥料は元肥に約3割、追肥を7割くらいとします。

## ※陸稲早期栽培

種まき時期は、4月上旬、しかし、「農林21号」は収穫がややおそくなるので、3月末までにすませるようにする

海岸地帯では3月中に全部すませた方がよい。

種子量は、10アール当り5～6キログラム

ネアブラ虫、ネカイガラ虫を防除するためアルドリンまたはペプタ粉剤を10アール当り3～4キログラム肥料とまぜて種まきの前に散布するとよい。

## ※甘しょ

反収を多くするには、早く植え終るように苗床を多く作りましょう。10アール当り15平方メートル(約6坪)。近ごろ金肥が多くなりがちですが、甘しょは何といつても堆肥つくりからです。

## ※茶

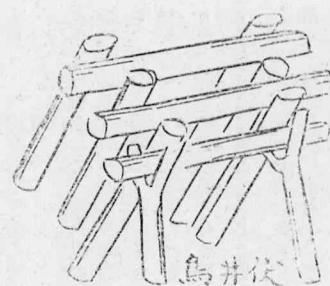
一番茶の葉つみを能率的にするために、3月上旬までのうちに、浅く刈りそろえておきましょう。余り深く刈りすぎると収量が少なくなります。肥料もこの時期のうちにやっておきましょう。



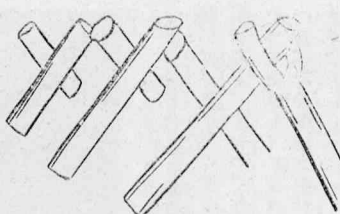
せ、縄や、つる等でしばって

## (3)伏込みの型

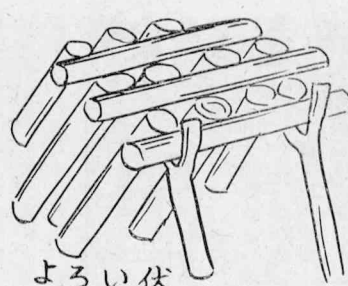
いろいろありますが、その場所の諸条件を考えて決めるべきで、とくに乾燥度を考えて、よのい伏、鳥井伏、箱伏、百足伏などがとられています



(4)伏込み中の管理



百足伏



箱伏

ア、よのい伏(乾燥する地方に適する。)

ウ、箱伏

# 過温は禁物 適度の採光を

Ⅱしいたけ栽培Ⅱ

(前号から続き)

## (2)伏込みの方法

適地の選定が終わったら、きれいに掃除して、次の点に注意して伏込みます。

※伐採跡地や、原野のような場所では、伏込んだ原木に直接太陽の光線が当たらないように、傘木をかぶせることが必要です。傘木は、葉の着いた枝であれば何でもよく、とくに、かし、しい、くり等の場合は、皮がうすくてはげ易いから、厚くかぶせます。この場合、横巾は、原木の伏込み巾より両側に、それぞれ、三

センチ以上はり出すようにかけ、厚さは、少くとも十六センチ以上にして、更に傘木の上に二～三本の押え木をのせ、縄や、つる等でしばって

おきます

## ※疎林の場合

太陽の光線が、チラチラ射し込む程度で風通しのよい所を選びます。

何れも、種駒を打ち込んだ傷口に、水がたまらないように、元口を上にも口を下にして伏込みます。

原木の木口が、直接地面についていると、雑菌が浸入しますから、小石等を利用して、木口と、地面と、直接ふれないようにすることが望ましいわけです。

イ、鳥井伏

エ、百足伏

(1)伏込んで半年位たつてから原木を上下におきかえる  
(2)梅雨期の前後は、とくに高温多湿で、雑菌が入りやすいから、原木の周囲を清潔にします。  
(3)台風等、大風の吹いた後は早速伏込み現場を見廻って、倒れているものは立かえ、傘木の飛んでいるものはかけなおします。  
(4)やむなく谷間等に伏込んだ場合は水が流れこまないように排水溝を設ける。  
(5)ホダ下し(ホダ立て)とホダ場の選び方  
(1)ホダ下し  
伏込んだ原木は、八～十二ヶ月すると菌のびて来ます原木の一部の皮をはいてみて

菌が充分のびていることを確かめ、ホダ場(しいたけを発生させる場所)に移します。  
この場合、原木の皮がおちないよう充分注意しますホダ場では、できるだけ立木を利用し、原木よりも十五～三〇センチ位低目に横木を渡しこれに原木を両側から末口を下にして交互にたてかけます  
(2)ホダ場の選びかた  
伏込地よりも、多少湿気の多いような、立木のある所で日光がチラチラ差し込む程度の場所が最も適しています。適当な場所がないときは、人工的に、ヘチマやブドウ棚のような柵を作り、その上に傘木をならべその上に蔓植物をはわせるようにします。浸水打

木用の溜池の必要がありますから谷川に近い場所や、湧水の近くを選ぶことも大切です  
6、ホダ場での管理  
(1)しいたけのあまり発生しない、五月から九月までは、草の刈払や、地面の清掃をして発生期間よりも風通しをよくします。  
(2)ホダ場の上下が、茂りすぎて昼でもうす暗くなると、光線の不足と、過湿で発生が悪くなります。適当に光線が入るよう工夫します。  
(3)ホダ木は、地面に接する所が腐り易いので、年に一、二回は、上下、表裏をかえてやるようにします。(次号から「林地肥培」について掲載します。)

## 小学校入学前の準備

このごろ大半の子どもが、幼稚園課程を経てきていますので、新入学といつても以前ほど心配はないと思いますが最低つぎのようなことだけは身につけておきたいものです。

- ①あいさつができること
- ②自分の名前が言える、書ける、読めること
- ③ハイ、イイエの意志表示ができること
- ④ハンカチ、ちり紙の使用法と管理ができること
- ⑤自分で洋服の脱着ができる、用便がたせること

## 奥さまの手帳

などの社会生活での基礎を教えておけば十分です。字を教えこんだりすると、かえって小学校の授業にさしつかえます。

児童の衣服計画  
計画を立てることです。

学用品の準備  
学用品は消耗品ですから、初めからあまり高価なものを買わないことです。  
教科書の買い方は学校で指示してくれませんが、新しい本にカバーなどつけないこと。子どもは表紙の絵によって、本を区別します。  
※ハエの駆除は、いまが最適三ヶ月にはいるとそろそろハエが目につき出します。天井や火の気のある暖いところにひそんでいたのが、天候が暖くなるにつれて活動しはじめるのです。  
ハエのさなぎは、お便所の近くやごみ袋などの土の、深さ十センチから二十センチぐらいのところで越冬しますから、土を掘りおこして殺虫剤を十分までおいてください。農家などで穴を掘ってゴミを捨てばなしにしておりますがハエの巣を作っているようなものです。